



農業機械士会による講習会



メーカー担当者に質問する参加者



メーカー担当者による講習会

## 農業機械の安全講習を実施 2021年度青壮年部学習会

12  
JA  
JA  
は12月7日、宇都宮市上桑島町のJA全農とちぎ農業機械総合センターで2021年度青壮年部学習会を開催しました。同JA青壮年部員、関係機関の担当者ら34人が参加しました。今回は昨年度行われた「JA常勤理事との青壮年部意見交換会」で部員から出た要望を元に、農業機械に関する講習を実施しました。

学習会では、前半に農業機械の安全講習や法令改正について、栃木県農業機械士会の山口守副会長、上河内農業機械士会の福嶋修会長が講演。山口副会長は「農作業中の事故は非常に多い。安全に気を付けて農業を行ってほしい」と語り、必要な免許の確認や農業機械の点検を呼び掛けました。

後半には、農業機械メーカーの担当者がメンテナンスや作業方法の講習を実施。講習の後には質疑応答の時間が設けられ、参加者は各メーカー担当者に積極的に質問していました。

JJA青壮年部の黒崎浩史部長は「日頃の疑問や本音を直接メーカーに伝える機会がこれまでなかつたので、今回実施することができた良かった」と語りました。

# J Aうつのみやから5人認定

## 令和3年度栃木県名誉農業士・農業士認定式

**令和3年度**栃木県名誉農業士・農業士認定式が1月11日、宇都宮市昭和1丁目の栃木県公館で行われました。農業士は、地域農業の振興を目指して、新たに農業を始めた人や青年農業者へのアドバイスや支援活動を行うなど、積極的な活動を行っている農業経営者を県知事が認定するものです。また農業士の研さんや相互の交流を図るため、各種研修会を開催し、さらなる資質向上を進めています。

### 名譽 農業士

く　ほ　い　ひろ　みち  
**久保井 弘道さん**  
(70歳) (宇都宮市)

#### 経営

#### イチゴ

#### 功績等

■平成15年度栃木県農業士認定 ■河宇地区農業士会会長を務めるなど、地域農業のリーダーとして、農業振興に取り組んできた ■イチゴ栽培を志向する農家後継者や非農家出身者など多くの研修生を積極的に受け入れ、新規就農者の確保・育成に貢献 ■空中採苗やセル苗育苗をいち早く導入し、規模拡大と省力化を図るとともに、元肥に全有機質を使用し水分調整を徹底することなどにより、甘く・安全・安心なイチゴを生産。JAうつのみや苺専門部部長として、現地検討会や各種研修会での新品種・新技術の普及啓発に取り組み、産地拡大に尽力。JAうつのみやスカイベリー栽培研究会会长として作付拡大や生産安定を推進。特に地元の上河内地区は市内で最もスカイベリーへの品種転換の割合が高く、宇都宮市におけるスカイベリーの産地づくりに寄与。



う　え　の　き　い　ち  
**上野 喜一さん**  
(68歳) (上三川町)

### 名譽 農業士

#### 経営

#### 畜産・水稻

#### 功績等

■平成14年度栃木県農業士認定 ■河宇地区農業士会副会長、栃木県農業士会畜産専門部会長、上三川町農業委員など歴任 ■地域の肥育牛農業者の良き先輩、相談役として、農業経営や組織の活性化のため指導を行うほか、宇都宮白楊高から研修生を受け入れるなど、農業人材育成にも貢献 ■肉質の向上と事故の軽減のために、監視カメラの設置など新技術等を積極的に導入し、地域和牛農家の模範となっている ■堆肥についても、良質なものを作るように心がけている。水田に堆肥を投入し、化学肥料を減らしコスト低減を図るとともに、食味の良い良質の米を生産。



さが ら りつ こ  
**相良 律子さん**  
(68歳) (宇都宮市)

名譽  
農業士

経営 グリーンアスパラガス

功績等

■平成12年度栃木県女性農業士認定■国の「食と農林漁業の再生実現会議」における有識者委員、県の農政審議会や市の農業振興対策審議会など多くの委員を務め、国・県・市それぞれにおける農政運営に大きく貢献■栃木県女性農業士会会长や栃木県農村女性会議会会长を歴任し、農村女性の組織活動・社会参画に尽力するなど、農村社会の男女共同参画に取り組んできた■地域に先駆けてアスパラガスの栽培に取り組み、JAうつのみやグリーンアスパラガス専門部部長を務め、先進農家として積極的に研修生を受け入れるなど、担い手の育成においても大に貢献。

い ざわ ち ょ こ  
**伊澤 千代子さん**  
(67歳) (下野市)

経営 イチゴ

功績等

■平成12年度年栃木県女性農業士認定■平成16年に事業継承や加工販売の一元管理を目的に法人化(伊澤いちご園)を図り、女性の就労環境や経営参画など、女性農業者の活躍を自らの経営で実践。平成19年には栃木県女性農業士会経営参画部会副会長、平成30年から3年間下野市農業委員を務め、男女共同参画意識の啓発や、家族経営協定の締結及び女性農業者の認定農業者への誘導を行うなど、ビジョン推進に大いに貢献■女性農業士の認定を受けてから、JAうつのみや南河内支部苺部会女性会の初代会長や南河内町農村生活研究グループ会長を務めるなど、女性組織のリーダーとして組織活性化に尽力■農村女性加工グループの総菜開発や、自家農園のイチゴを使ったジェラート専門店の道の駅内のオープン、栃木県農業士会オープンファームの取り組みは、地域農業の発信・PRや農業の6次産業化、農業の理解促進に大きく貢献。



おお き まさ ひろ  
**大木 正博さん**  
(49歳) (宇都宮市)

農業士

経営 水稻

功績等

■現在約28㌶の農地を作付け。地区内の他の農業法人との協力等による地域全体を見渡したさらなる農地の集約を目指して取り組んでいる■積極的に6次産業化に取り組み、これまでにみそ、ぬか漬け、ハチミツ、自社生産の酒米「五百万石」で作った日本酒などの自社オリジナル商品を開発■インターネット販売や県内外からの観光客向けの販売など、自社ブランド力の向上に取り組んでいる。また食用米の「小倉(こぐら)米(まい)」でお酒を造り、搾りかすを使用して漬物を作るなど、捨てるものが無い「循環型加工」や、減農薬・減化学肥料栽培による安全・安心な農産物作りといった、環境にやさしい農業生産活動に取り組んでいる。



## 組合員に頼られる存在に 課題解決ができる人財づくり研修会



本所で行われた課題解決ができる人財づくり研修会



**JA**は11月17日、19日の2日間、宇都宮市戸祭元町の本所で「課題解決ができる人財づくり研修会」を実施。入組2年目から10年目の職員13人が参加しました。

研修会は地域の課題や業務上の問題に対して課題を解決できる人材育成を目的に、令和元年度から実施しています。佐藤俊伸専務は「課題の解決を求められたとき、JAがどう返せるのかが重要。組合員に頼られる存在になってほしい」と語りました。

研修会では伊澤一義人事課長が講師を担当。「JAうつのみやが、組合員・利用者から必要とされるには、どのようにすれば良いか」を題目に参加者が課題と解決策について話し合いを行いました。

## ► 無駄ない出荷でニンジン産地へ

### 加工用ニンジン出荷説明会



**JA**は11月19日、宇都宮市新里町の北部営農経済センターで加工用ニンジン出荷説明会を開催。生産者や県・JAの担当者など約25人が参加しました。

J A担当者が出荷規格や加工業者であるカゴメとの取引内容について説明。12月から始まる集荷計画を各生産者と確認しました。現物による目ぞろえでは、カゴメの担当者が二股や実割れのニンジンをナイフで削いで実演。「異物の混入などに注意し規格内のニンジンを無駄なく出荷してほしい」と協力を求めました。生産者からは、ニンジンの発芽率を上げるための技術指導を仰ぐ声が上がりました。



奇形のニンジンをカットして見せるカゴメ担当者(左)

## 6月の出荷に向けて剪定講習会を実施

### JA梅専門部



梅の剪定をする参加者



**JA**梅専門部は11月25日、宇都宮市田野町の池田陸男さんの圃場で梅剪定講習会を開きました。同専門部員や関係機関の担当者ら9人が参加。

剪定講習会では、県の担当者が改植の実施や大枝の整理など剪定について説明。また新たな害虫の発生について報告し、大きな影響はないと予想されるものの適切な病害虫防除を継続するよう呼び掛けました。県の担当者は「昨年は晩霜害で出荷量が落ち込んだが、今年は回復した。今後も計画的に剪定を進めてほしい」と話しました。説明を受けた後、参加者は実際に梅の剪定作業を行いました。

同専門部の梅は梅酒向けとして契約栽培されており、6月に出荷が開始されます。

## 農機具の適正導入を 完全予約制で農機具展示即売会



秋冬期農機展示即売会  
全農とちぎ上桑島拠点敷地内で開かれました

**JA**は11月27、28日の2日間、宇都宮市上桑島町のJA全農とちぎ農機総合センターで秋冬期農機展示即売会を開きました。農機具メーカーが農機具などを多数展示し、会場には2日間にわたり多数の来場者が訪れました。コロナウイルスの感染防止のため完全予約制にし、会場での飲食は禁止、マスクの着用などを徹底しました。

同展示即売会は、組合員に対する農機具の適正導入の指導および予約購買の主旨徹底を図っています。更新期を迎えた機種に対し低コスト、省力化を図る情報を提供することを目的に開きました。

会場では多くの来場者が展示されている農機具類を見て回るとともにメーカー担当者から農機具の特徴や使用方法などについて熱心に説明を聞いていました。

## 6年生が思い込めた作品完成

**県** 河内農業振興事務所が推進する「花育」事業の一環としてフラワーアレンジメントの特別授業が12月17日、豊郷北小で行われました。コロナ禍でさまざまな活動が制限される中、卒業を控えた6年生を対象に行いました。

同校の卒業生で花き栽培農家の小池一構さんが、同業者やJAの担当者、地元のフラワーショップなどに協力を依頼して実現しました。

6年生は、今回利用するユリやバラの花すべてが地元産であるとの説明を受けた後、アレンジメントを始めました。限られた時間の中でも、児童一人一人の思いが込もった作品が完成しました。

## 豊郷北小で花育



フラワーアレンジメントに挑戦する豊郷北小の6年生

## ブランド農産物「宇都宮牛」を食べてみませんか?

宇都宮市産農畜産物の消費拡大活動



一人一人に商品を手渡す篠塚副会長(右)



**宇**都宮牛協会(横松久夫会長)と宇都宮市地産地C栃木本社で宇都宮牛の特別販売を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ同市産農畜産物の消費拡大を狙ったものです。サーロインステーキ、すき焼き用ロースなど4種類をTKCの社員31人に販売しました。

同協会篠塚邦善副会長は「今年はコロナの上に飼料が高騰し経営は非常に厳しかったが、まず宇都宮の方に食べてもらいたい。このような機会は大変ありがたい」と述べ、一人一人に商品を手渡しました。5パック受け取った社員は「年末に子どもが3人帰省するのですき焼きを楽しみたい」と話しました。

農産物を提供する黒崎部長(左)



JA青壯年部がフードバンクに農産物を提供（12月1日）

JA青壯年部は宇都宮市塙田2丁目のフードバンクうつのみやに米やサツマイモなどの農産物を提供しました。JA青壯年部の黒崎浩史部長は「新型コロナウイルスの感染拡大が早く終息することを願っている。今後も支援を続けていきたい」と語りました。



うつのみやフェアで管内産農産物の消費拡大をPR  
(12月3日～5日、宇都宮市江曽島本町のアピタ宇都宮店)  
イチゴ、トマト、にっこり梨、ニラなど10品目の管内産農産物を特別ブースで販売。  
「どちらが好きで毎日食べている」と話す購買客もいました。



管内産農産物をPRしたうつのみやフェア



「みんなのよい食プロジェクト2021」PR（12月17日～）

JAグリーンかみかわちなど3直売所にPOPや「3食ごはんの日」のぼり旗を掲示し、購入者には「よい食PJ宣伝用マスク」を配布しました。



J A青壯年部が子ども食堂にイチゴを提供（12月20日）

JA青壯年部はクリスマスの時期に合わせ、宇都宮市戸祭4丁目の昭和こども食堂に青壯年部員が栽培したイチゴを提供しました。



吉田昌史副部長(左)  
JA青壯年部の  
イチゴを提供した青壯年部の

りんごゼリー  
手羽先の  
ボーリルキャベツ、  
手揚げ、  
テトララダ、  
手作り



あたたかい冬のごちそうを  
子どもたちに（12月27日）

みどり会国本支部は宇都宮市戸祭4丁目の昭和こども食堂で調理ボランティアを行いました。半田敬子支部長は「子ども達に喜んでもらえそうな冬を意識したメニューを考えた」と話しました。



組合員の皆さまからの地域の話題や活動報告をお待ちしております。写真を添えてお送りください。  
※紙面の都合上、掲載されない場合もありますのでご了承願います。詳しくは総務課組合員広報係まで。

# 管内インフォメーション

## 部門間の連携強化が必要　涉外担当者等交流会開催



涉外担当者等交流会で挨拶をする佐藤専務

JAは11月22日、宇都宮市戸祭元町の本所で涉外担当者等交流会を開催し、営農相談員や融資担当など約30人の職員が参加しました。涉外担当者等の横のつながりを強めて情報を共有し、組合員をはじめとする利用者の多様なニーズに応えることを目的としています。

佐藤俊伸専務は「JAは株式会社とは異なり、組合員の出資に基づいて営む総合事業である。職員の連携を深め、組合員の求めに一丸となってもれなく答えを出してほしい」とあいさつしました。職員たちはグループワークを通して部門間連携の必要性を学びました。

## 婚姻届を出したカップルにバラ贈る　いい夫婦の日



都宮市地産地消推進会議は、いい夫婦の日の11月22日、同市役所で婚姻届を出したカップルにバラを贈りました。バラはJAうつのみやバラ専門部が提供しました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、需要が減少しているバラの消費を喚起するとともに、婚姻届を出したカップルを祝福するために企画。

婚姻届を出して黄色いバラの花を選んだ同市ゆいの杜7丁目、会社員、大橋優晶さん（26）、安理沙さん（25）夫妻は「お互いの誕生日が5月22日、10月22日ということもあり、いい夫婦の日の22日を選んで、提出に来た。ずっと仲良く暮らしていきたい」と話しています。



婚姻届を出し、黄色いバラの花を手にする大橋さん夫妻

## JA管内生産者が出品 第38回栃木県肉用牛総合共進会



参加したJA管内生産者と出品した雌牛

JA和牛改良専門部会は12月9日、矢板市越畑の矢板家畜市場で開催された第38回栃木県肉用牛総合共進会種牛の部に参加しました。栃木県内から若雌の部2区（生後14ヶ月から17ヶ月）19頭、若雌の部3区（生後17ヶ月から20ヶ月）15頭、成牛の部4区（1頭以上分娩している雌牛）9頭が集まりました。

同部会からは若雌の部2区に鈴木和弘さんと息子の貴史さん、とこいブリーディングの床井和之さんと鳥海みなみさん、若雌の部3区に高橋邦夫さんが参加し、3頭の雌牛を出品。今回の共進会では入賞には至りませんでしたが、鈴木和弘部会長は「2022年開催される5年に1度の全国和牛能力共進会に向けて、部会全体で頑張っていきたい」と抱負を語りました。

水稻

## 縞葉枯病に注意を

イネ縞葉枯病は、管内の南部を中心とし、北部にまで発生する。



## 生育初期の発病： ゆうれい症状 (県農業環境指導センター)

**編  
竜葉枯病とは**  
この病気は、イネ竜葉枯ウイルスをもつたヒメトイヌンカ(保毒虫)がイネを吸汁する際に感染するウイルス病で、平均20日間の潜伏期間を経て発病します。生育初期の発病は、心葉が黄白色になり巻いて垂れる「ゆうれい症状」を表し枯死します。生育後期には、①穂が奇形になる②穂が生出するみになる③不稔または充実不良になるなどの症状が出て、収量を低下させます。

縞葉枯病とは

2・4%、県中部2・9%、県南部2・2%と低い傾向ですが、生息密度は県平均98・4頭／10m<sup>2</sup>と平年より多い発生でしたので防虫対策を実施しましよう。

## 縞葉枯病の伝播

イネ科葉枯病は、イネの他に  
麦類やトウモロコシ、スズメノテツ  
ポウなどのイネ科植物を侵します  
が、これらの罹病した植物を吸汁し  
たヒメトビウンカは保毒虫になり、  
一度保毒すると、卵を通して次の世  
代も保毒虫になりイネに加害を続け  
ます。このため保毒虫の発生量と竊  
葉枯病は密接につながることになり  
ます。

高くなっている生息密度  
防除基準では、保毒虫率が10%以下の地域であれば防除の必要はないとしていますが、生息密度が高いとイネ科植物を通して保毒虫率が高くなり、来年産に大きな被害を与える可能性があります。

また近年、管内全域で再生稻罹病株が散見されています。南部・上三川地区は管内で保毒率の数値が高いため注意しましょう。



## 生育後期の発病： 出すくみ (但農業環境指導センター)

防除对策

- 抵抗性品種のとちぎの星・あさひの夢を作付けする。  
○コシヒカリ・なすひかり等の罹病性品種を作付けする場合は、必ず箱施用剤でヒメトビウン力を防除する。また、抵抗性品種のとちぎの星・あさひの夢でも箱施用剤は使用し、ビウンカを防除していくと保毒虫率を下げていきましょう。(表一)

## 排水対策をしつかりと

麦の発根力は、茎立ちに衰えるため、既存の根を

○ 縞葉枯病の発生が多い地域で罹病性の品種を作付けする場合は、箱使用と併せて早植では6月上旬～中旬に、普通植では7月上旬～中旬に田防除を行う。

う。

支



令和4年産は、播種後に断続的な降雨にあつたものの、生育の遅速、苗立ちは平年並み、分けつの発生も順調となっている。

妻踏み

麦踏みは、根張りを良くし、有効茎

歩合や穗揃いの向上のほか、早期茎立ちを防ぎ幼穂凍死を回避します。茎立ちまでに2回以上行いましょう。具体的には、①凍結層が消えて十が乾いたらすぐに②主茎の幼鉢長が2cmになる直前までに行います。なお、土壤水分が高いときの麦踏みは逆効果になるので控えましょう。

雜草防除

麦の除草は、播種後の土壤処理によるものが基本ですが、雑草が残っている場合は、次表を参考にして茎立ち前に除草しましょう。また、同一薬剤を連用すると、特定の雑草が占有化するので薬剤をローテーションして使用しましょう。

(注) 農薬のラベルは必ず読み、適正に使用しましょう。

## みどり会姿川支部

**み**どり会姿川支部では、新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえ、活動自粛を続けております。

なかなか思い切った活動に踏み切れず、支部の皆さんと顔を合わせる機会が少なくなってしましましたが、通常の生活に近い状況になった際には以前のような親睦旅行や料理教室等を楽しくできればと思っております。

また、JAうつのみやみどり会の活動で各支部の皆さんとお会いできる日を楽しみしております。



楽しく調理した健康料理教室(2019年度)



できあがった料理



調理の様子



コットンパールのネックレス作り(2019年度)

「なんでもサークル」  
会員募集中



健康ウォーキング歌舞伎座鑑賞

## みどり会平石支部

**平**石支部では、『なんでもサークル』をメインに活動をしています。コロナ禍前は写真のような行事を行っていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で活動を見合わせております。コロナが落ち着きましたら、『元気に楽しく』をモットーに活動を再開していきたいと思います。みなさんもぜひ『なんでもサークル』に参加してみませんか?ご参加お待ちしております。



しめ飾りフラワーリース講座



ふれあい食材を使った料理教室

# ワンプレートレシピ One plate recipe

## ミツバとパルメザンチーズのオムレツ



### 材料(4人分)

卵	.....6個
ミツバ(根が付いているものは落とし、ざく切りにしておく).....	1把
A パルメザンチーズ.....	15g
生クリーム.....	40g
塩.....	1g
こしょう.....	適宜
オリーブ油.....	大さじ1

### 作り方

- 直径18cm程度のテフロン加工のフライパンにオリーブ油を入れ熱する。
- ボウルにAの材料を全て入れ混ぜ合わせ、弱火にしたフライパンに流し入れる。ふたをし、弱火のまま7、8分加熱する。途中でふたを取り固まり具合を見る。
- 上まで固まってきたらふたを外し皿をかぶせ、ひっくり返して上下を入れ替えてフライパンに戻す。ふたをして2、3分置く。
- 8等分にカットして皿に取り、出来上がり。

茨城県笠間市にある  
天晴(旧キッチン晴人)  
オーナーシェフ  
ながいともかず  
永井 智一



## シェフ永井のおすすめ

### 今月の直売所情報

#### JAうつのみやのいちご特売 3店舗同時開催 2/12(土)

対象店舗:JAグリーンインターパーク直売所 JAグリーンかみかわち直売所 南河内グリーンセンター  
新型コロナウィルス感染拡大防止のため入場制限を行う場合があります。



**お米の特売日** JAうつのみや お薦めのみやおとめ(コシヒカリ)をお買い得価格にて販売します!!  
JAグリーンインターパーク & JAグリーンかみかわち直売所

特売 南河内  
グリーンセンター  
第3木曜は特売デー

#### 臨時休業

店舗	日程	理由
JAグリーンインターパーク直売所	2/27、28	棚卸
JAグリーンかみかわち直売所	2/28	棚卸
上三川いきいきプラザ農産物直売所	2/25~28	臨時休業

#### 南河内グリーンセンター 生産者さん募集!!

詳しくは南河内営農経済センター  
TEL: 0285-48-2215  
営農課 森田・上野まで

# 清原支所

だより

各支所の活動や地域の情報を届けします!



文教地区を示す「清原学園通り」の看板

## 文教地区にふさわしい「清原学園通り」

清原地区には、第二次世界大戦時代に宇都宮陸軍（清原）飛行場がありました。その飛行場と高根沢町の宝積寺駅を結ぶ運用鉄道が敷設され、物資や人々が往来していました。戦後、廃線になりましたが地元の人からは長らく「線路通り」と呼ばれて、歴史の一端を伝えてきました。

今は「清原学園通り」として定着しています。清原地区は、知る人ぞ知る文教地区だからこそ、「清原学園通り」の命名は言い得て妙でしょう。2021年度に開校したゆいの杜小と既存の4小学校を合わせ計5つの小学校、清原中、宇都宮海星女子学院（中学校・高等学校）、宇都宮清陵高、作新学院大・同女子短大、栃木県農業大学校があり、宇都宮市内でも屈指の学園都市を形成しています。

## LRT開通に期待

次世代型路面電車LRTは、東西方向の基幹公共交通として整備が進められ、2023年の開通を予定しています。LRTは、鉄道やバス、地域内交通など各種交通との円滑な連携や、低床式の車両により、高齢者や車いすの人もスムーズに乗り降りできることなど、優れた特徴のある次世代の交通システムです。

JR宇都宮駅と清原工業団地を結び、朝夕の通勤・通学の混雑解消を担うとともに、沿線地域の産業の活性化や将来的な鉄道との結節による広域交通ネットワークの形成などの効果が期待されています。



清原工業団地内を走る  
LRTのイメージ図  
(宇都宮市提供)



LRTの整備が進む  
清原工業団地内



各種お問い合わせはこちらへ

### 支所・センター電話番号

中央支所	028-633-3467	南河内支所	0285-48-2211
宝木出張所	028-622-6111	上三川支所	0285-55-1510
平石支所	028-661-4311	宇都宮北部営農経済センター	028-665-0550
南部支所	028-656-1020	宇都宮西部営農経済センター	028-658-6565
城山支所	028-652-0711	宇都宮南部営農経済センター	028-656-8484
北部支所	028-665-0003	宇都宮東部営農経済センター	028-660-3535
豊郷支所	028-624-8011	上河内営農経済センター	028-674-2164
清原支所	028-667-0151	河内営農経済センター	028-673-6911
姿川支所	028-658-6881	南河内営農経済センター	0285-48-2215
上河内支所	028-674-3333	上三川営農経済センター	0285-55-1511
河内支所	028-673-3135	住宅ローンセンター	028-622-7100

■ キャッシュカードの紛失・盗難  
フリーダイヤル0120-082065

■ 夜間・土・日・祝祭日の自動車事故(24時間受付)  
事故受付センター フリーダイヤル0120-258931

■ JA葬祭(24時間受付)  
アトラス宇都宮ホール 028-660-5555  
アトラスアミラーホール鶴田 028-633-9200  
アトラス上三川ホール 0285-55-1555

■ LPガス関係 灯油・軽油・A重油の配達  
フリーコール 0800-700-0085(通話無料)  
※緊急連絡先028-633-0085